



まさのぶ
福岡正信自然農園
(愛媛県伊予市)



障害者や生きづらさを抱える者等に対し、滞在型の自然農法による農作業を提供。
地域との交流を図りながら多様な人が働く環境を創出し、
定住や新規就農へとつなげる取組を実施。

人を耕す

- 就労継続支援B型事業所への委託は、取組当初から1名あたり時給500円に設定。
- 得意なことや個々の性格、やりたい仕事に応じて作業を細分化。
- 障害者や生きづらさを抱える者、また自然農法を学びたい者に対し、年間20名程度(半数が海外から)に住環境と食事を提供し、多様な人と農作業に携わり、自然への関わり方を覚える機会を提供。

地域を耕す

- 自然農法の根幹となる「粘土団子づくり」のワークショップを地域の小学校で毎年実施し、地域との交流を図っている。
- 山椒の植付けなど手間のかかる農作物の作付を拡大し、就労継続支援B型事業所に委託する作業を確保している。

未来を耕す

- 自然農法で障害者など多様な人が働く場所を創出し、定住や新規就農につなげるなど、地域農業の維持・発展に貢献。
- 規格外品や豊作年の余剰作物をマーマレードやジュース等に加工。マーマレードは世界最高峰のコンテストで金賞を受賞。

成果

- 受け入れる障害者数は、1名(R4)から7名(R7)へ増加。
- 農地面積は、10ha(R4)から10.4ha(R6)へ増加。
- 多様な人が自然の中でそれぞれ得意とする力を発揮し、互いの違いを認め合う地域コミュニティが育つ環境を創出。
- ニューヨークの雑誌『Atmos』でも農園が紹介されたほか、NHKのドキュメンタリー番組が2年半～3年にわたり密着取材し、BSで放送。
- 滞在型での農作業の機会を提供することで、5名程度が新規就農を実現。

基本情報

- 設立/S48年 ● 農福連携取組開始/R4年 ● 特徴的な取組/自然農法、農薬不使用
- 主力商品/(農作物)米、野菜、果樹(柑橘類)、ハーブ類 (加工品)マーマレード、ジュース

